



## スタートガイド 仕訳データ編

こちらの資料では invox で仕訳データを生成し、  
会計ソフトや ERP 等と連携する流れについてご説明します。

基本部分の設定方法については「基本編」をご覧ください。

※本マニュアルに記載の内容はベーシックプラン以上でご利用可能です

## 目次

1. はじめに .....	3
● 取引データ、仕訳データの生成方法について .....	3
2. 初期設定 .....	4
● 出力設定 .....	4
● 勘定科目、税区分設定 .....	4
● デフォルト仕訳設定 .....	5
3. 仕訳編集 .....	8
4. 仕訳辞書の作成・編集 .....	10
● 適用条件 .....	10
● 仕訳情報 .....	11
パターンを定義する .....	12
請求明細から生成する .....	13
5. 支払計上仕訳 .....	16

## 1. はじめに

### ● 取引データ、仕訳データの生成方法について

invoX では「仕訳辞書」と「デフォルト仕訳設定」という二つの仕組みで取引データや仕訳データを生成します。本資料では「仕訳辞書」や「デフォルト仕訳設定」を利用して仕訳や明細を作成する方法についてご説明します。

仕訳辞書	仕入先や自社の部門、プロジェクト、およびその組み合わせに対して仕訳のパターンを定義したもの
デフォルト仕訳設定	一致する仕訳辞書が無かった時の仕訳パターンを定義したもの

動画もご用意していますので合わせてご覧ください。

<https://youtu.be/lsPto2kt1C0>



## 2. 初期設定

### ● 出力設定

まず初めに連携対象のソフト、システムを選択します。[設定]-[サービス]-[出力設定]を開き、“取引データ・仕訳データを出力する”にチェックを入れ、プルダウンから連携対象を選択してください。

### ● 勘定科目、税区分設定

次に勘定科目、税区分の初期設定を行います。

勘定科目設定・・・[設定]-[サービス]-[勘定科目設定]、もしくは[設定]-[インポート]からインポート

税区分設定・・・[設定]-[サービス]-[税区分設定]

## ● デフォルト仕訳設定

該当する仕訳辞書が存在しない場合に作成される仕訳のパターンを[設定]-[サービス]-[デフォルト仕訳設定]から設定します。

デフォルト仕訳設定

費用計上

計上日 [編集](#)

勘定科目 部門 摘要	補助科目	税区分 金額	勘定科目 部門 仕入先	補助科目	税区分 金額 プロジェクト
未確定勘定		課税仕入(自動判定)	未払/買掛金判定		対象外
自動判定		自動計算	自動判定		自動計算
デフォルト仕訳設定			自動判定		自動判定
					<a href="#">削除</a>
			預り金		対象外
自動判定		設定しない	設定しない		源泉徴収金額
			自動判定		自動判定
					<a href="#">削除</a>
					<a href="#">行追加</a>

### 計上日設定

計上日は「取込日」「請求日」「支払期限」「支払予定日」から条件を設定して計算する事が可能です。例えば 10 日までに取込んだものは前月計上、11 日以降に取り込んだものは当月末計上とする場合は以下のように設定します。

計上日設定

☒ 条件1を設定する

取込日

が

1日

～

10日

の場合は計上日を

前月

月末

にする

計上日が休日の場合は 

ずらさない

☒ 条件2を設定する

取込日

が

11日

～

月末

の場合は計上日を

当月

月末

にする

計上日が休日の場合は 

ずらさない

### 部門・プロジェクト設定

部門には「設定しない」「自動判定」「固定値」の 3 つの条件が指定可能です。「自動判定」を設定すると取り込み時に指定された部門が設定されます。

## スタートガイド 仕訳データ編

### 金額設定

金額には「設定しない」「自動計算」「固定値」「内訳」「比率」の 5 つの条件が設定できます。「自動計算」を指定すると税区分に毎に行が展開された仕訳が生成されます。

### 貸方勘定科目設定

貸方勘定科目には登録されている勘定科目の他「未払/買掛金判定」という特別な値が指定可能です。こちらは予め設定した条件で未払金か買掛金かを判定するためのもので、画面上部の「未払金/買掛金設定」から条件の指定が可能です。

### 仕入先設定

仕入先には「設定しない」「自動判定」「固定値」が指定可能です。「自動判定」を設定するとデータ化結果の仕入先の情報が設定されます。

### 摘要設定

摘要には固定の文字列の他、以下のパラメータが設定できます。

パラメータ	利用例	概要
#{計上年} #{請求年} #{支払予定年}	#{計上年}年分 ↓ 2020 年分	計上日/請求日/支払予定日の年 4 桁を表すパラメータです。
#{計上月} #{請求月} #{支払予定月}	#{計上月}月分 ↓ 6 月分	計上日/請求日/支払予定日の月 2 桁を表すパラメータです。下記のように記述する事で±3 の調整が可能です。 #{計上月-1}：前月 #{計上月+1}：翌月
#{計上日} #{請求日} #{支払予定日}	#{計上日} ↓ 2020 年 6 月 30 日	計上日/請求日/支払予定日（YYYY 年 M 月 D 日）を表すパラメータです。
#{仕入先}	#{仕入先} ↓ 株式会社 * * *	仕入先の名称を表すパラメータです。
#{仕入先コード}	#{仕入先コード} ↓ 00001	仕入先コードを表すパラメータです。
#{部門} #{借方部門} #{貸方部門}	#{部門} ↓ 開発部	部門の名称を表すパラメータです。
#{部門コード} #{借方部門コード} #{貸方部門コード}	#{部門コード} ↓ 001	部門コードを表すパラメータです。
#{請求 ID}	#{請求 ID} ↓ IR2181000581	invo の請求 ID を表すパラメータです。
#{件名}	#{件名} ↓ 3 月分利用料	請求書の件名を表すパラメータです。

パラメータ	利用例	概要
\${伝票 No}	\${伝票 No} ↓ 123456789	伝票 No を表わすパラメータです。
\${プロジェクト}	\${プロジェクト} ↓ Aプロジェクト	プロジェクトを表わすパラメータです。
\${プロジェクトコード}	\${プロジェクトコード} ↓ P001	プロジェクトコードを表わすパラメータです。
\${担当者}	\${担当者} ↓ * *	担当者を表わすパラメータです。
\${担当者コード}	\${担当者コード} ↓ S001	担当者コードを表わすパラメータです。
\${拡張項目 1～5}		拡張項目の値を表わすパラメータです。テキスト項目の場合は入力値のまま、選択式の場合は名称に置き換わります。拡張項目の詳細は <a href="#">ヘルプ</a> をご覧ください。

3. 仕訳編集

出力設定で「取引データ・仕訳データを出力する」を選択すると下記のように請求明細画面に仕訳情報が表示されるようになります。

確認待ち

ご利用時精算書

株式会社Deepwork様

2020年5月26日

〒100-0007 東京都港区新橋2-1-1  
TEL: 03-5423-4800 FAX: 03-5423-4801

物産名: SALTO五反田 1021 号室  
所在地: 東京都品川区東五反田1-13-12 五反田ビル10階  
月極利用料: 43,000円(税別)  
利用開始日: 2020年6月1日

日割利用料	月分	日割9	日分	総額	本体	消費税
利用料	6月分			¥47,300	¥43,000	¥4,300
保証金	税込月割利用料16月分			¥47,300	¥47,300	
合計				¥94,600		

下記口座振込欄に入力までご入金お願いいたします。

ご精算金: ¥94,600  
お支払期日: 2020年5月29日

銀行名: みずほ銀行 支店名: 東京中央支店  
口座種別: 普通口座 口座番号: 1340832  
口座名義: 株式会社セントロ

<契約時必要な書類> 領ご提出がなき場合、契約を中断する場合がございます。  
・商業登記簿謄本全部事項証明書(発行後3か月以内のもの)  
・決算書(直近1期分)

更新 削除 確定

⚠ 消費税額を確認してください。検算結果(10%)と一致しません。

請求ID IR0218572768 出力状況

発行者 株式会社セントロ

メモ

支払方法 銀行振込 手数料負担 当方

支払先 みずほ銀行 東京中央支店 普通 1340832 かんぽ

支払元 住信SBIネット銀行 法人第一支店 普通 0123456 DEEPWORK

請求日 支払期限 支払予定日 部門 プロジェクト

2020/05/26

請求金額 課税10% 税抜 外税 不課税

94,600 43,000 4,300 47,300

仕訳情報

計上日 2020/06/30

勘定科目	補助科目	税区分	勘定科目	補助科目	税区分
部門		金額	部門		金額
摘要			仕入先	プロジェクト	
地代家賃	五反田	課税仕入10%	未払金		対象外
		47,300	株式会社セントロ		94,600
前払費用		対象外			
		47,300			0
保証金					
合計金額	借方	94,600	貸方		94,600



## スタートガイド 仕訳データ編

仕訳部分の右上にある「編集」をクリックすると編集ウィンドウが表示されます。

辞書登録 辞書候補(2) 過去仕訳 × キャンセル 保存

計上日 2020/06/30

勘定科目 部門 摘要	補助科目	税区分 金額	勘定科目 部門 仕入先	補助科目 プロジェクト	税区分 金額
地代家賃	五反田	課税仕入10% 47,300	未払金		対象外 94,600
			株式会社セントロ		
追加 削除					
前払費用		対象外 47,300			
保証金					
追加 削除					
合計金額		借方 94,600	貸方		94,600

仕訳を修正する方法としては下記の 4 つの方法がありますので、状況に応じて最適な方法を選択してください。

修正方法	メニュー	概要
直接編集する	—	仕訳のテーブルを直接編集する方法です。単発の取引や辞書化が難しいイレギュラーな取引の場合にこちらをご利用ください。
仕訳辞書を作成・編集する	辞書登録	仕訳辞書を作成・編集し、仕訳辞書から仕訳を生成する方法です。今後繰り返し発生する取引の場合はこちらをご利用ください。
仕訳辞書を適用する	辞書候補	既に登録済みの仕訳辞書から仕訳を生成する方法です。( )には仕入先が一致する学習の件数が表示されています。
過去仕訳を適用する	過去仕訳	過去仕訳から仕訳を生成する方法です。

## 4. 仕訳辞書の作成・編集

仕訳辞書では仕訳辞書を適用する条件（適用条件）と作成する仕訳のパターン（仕訳情報）の定義が可能です。

### ● 適用条件

適用する条件には一貫性に応じて優先順位があり、優先順位の高いものから適用されます。詳細条件を設定した場合は詳細条件まで一致したものが適用されます。




また、同じ優先順位の仕訳辞書が複数存在した場合は新しい方が適用され「仕訳辞書候補が複数存在します。仕訳の内容を確認してください。」のメッセージが付いて返却されます。

仕訳辞書の優先順位

優先度	仕入先	部門	プロジェクト	説明
高 : : 低	○	○	○	全ての項目が一致
	○	○	—	仕入先と部門が一致
	○	—	○	仕入先とプロジェクトが一致
	○	—	—	仕入先が一致
	—	○	—	部門が一致
	—	—	○	プロジェクトが一致

○：請求書の情報と仕訳辞書の情報が一致  
—：仕訳辞書で値が未指定

仕訳辞書の適用状況は一覧画面や詳細画面の仕訳辞書マークでご確認いただけます。

一覧画面での辞書マーク	請求明細画面での辞書マーク	
	 仕訳辞書 適用済み	 仕訳辞書 未適用

## ● 仕訳情報

仕訳情報の生成方法は下記のいずれかから選択します。

1. パターンを定義する
2. 請求明細から生成する

の2つの方法があり、仕訳辞書の上部で選択できます。

仕訳辞書編集

× キャンセル

保存して反映

保存

仕訳種別

費用計上

適用条件

仕入先

部門

プロジェクト

営業

詳細

仕訳情報

計上日

☒ デフォルト仕訳設定に従う
 ☐ 個別に設定する

明細

☒ パターンを定義する
 ☐ 請求明細から生成する

☐ 貸方を編集する

勘定科目	補助科目	税区分	勘定科目	補助科目	税区分
部門		金額	部門		金額
摘要			仕入先		
747:地代家賃		課税仕入(自動判定)	デフォルト仕訳設定に従う		
開発		50.000%			
\$(計上月)月分			自動判定		
<input type="checkbox"/> 固定行として仕訳に追加する（金額の自動計算の対象外となり常に仕訳に追加されます）					削除
747:地代家賃		課税仕入(自動判定)	デフォルト仕訳設定に従う		
カスタマーサポート		50.000%			
\$(計上月)月分			自動判定		
<input type="checkbox"/> 固定行として仕訳に追加する（金額の自動計算の対象外となり常に仕訳に追加されます）					削除
行追加					

「パターンを定義する」を選択した場合は前述の[デフォルト仕訳設定](#)と同様に、請求書に対して仕訳のパターンを定義します。また「請求明細から生成する」を選択した場合は請求書に記載されている明細情報から仕訳を生成します

## スタートガイド 仕訳データ編

### パターンを定義する

基本的な操作方は[デフォルト仕訳設定](#)と同様ですので、本章ではいくつか設定例をご紹介します。

例： 管理部門とオペレーション部門で 50%ずつ費用を分担する場合

仕訳情報 □ 貸方を編集する

勘定科目 部門 摘要	補助科目	税区分 金額	勘定科目 部門 仕入先	補助科目	税区分 金額 プロジェクト
外注費 管理	管理部門	課税 50.000%			デフォルト仕訳設定に従う
			自動判定		自動判定
<input type="checkbox"/> 固定行として仕訳に追加する（金額の自動計算の対象外となり常に仕訳に追加されます） <span>削除</span>					
外注費 オペレーション	オペレーション部門	課税 50.000%			デフォルト仕訳設定に従う
			自動判定		自動判定
<input type="checkbox"/> 固定行として仕訳に追加する（金額の自動計算の対象外となり常に仕訳に追加されます） <span>削除</span>					

例： 固定の基本料金と従量料金を分ける場合

仕訳情報 □ 貸方を編集する

勘定科目 部門 摘要	補助科目	税区分 金額	勘定科目 部門 仕入先	補助科目	税区分 金額 プロジェクト
通信費 自動判定		課税 9,800			デフォルト仕訳設定に従う
invox月額利用料金			自動判定		自動判定
<input type="checkbox"/> 固定行として仕訳に追加する（金額の自動計算の対象外となり常に仕訳に追加されます） <span>削除</span>					
通信費 自動判定		課税 自動計算			デフォルト仕訳設定に従う
invoxデータ処理費用			自動判定		自動判定
<input type="checkbox"/> 固定行として仕訳に追加する（金額の自動計算の対象外となり常に仕訳に追加されます） <span>削除</span>					

## 請求明細から生成する

AI OCR が読み取った請求書の明細情報から仕訳辞書を生成します。読み取った明細の内容を確認する場合は、金額欄横の「明細」を選択します。※明細ボタンは請求書から明細情報が読み取れた場合のみ表示されます

The screenshot shows the 'ご請求書' (Invoice) processing screen. On the left is a scanned invoice from 'デモクライアント A' (Demo Client A) for 'invoxペーシックプランプラン8月利用分' (invox Basic Plan Plan 8-month usage). The total amount is ¥16,280. On the right is a summary panel with the following information:

- 請求ID: IR889028950
- 仕先: 株式会社Deepwork
- 〒163-0690 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル49F
- 支払方法: 銀行振込
- 支払先: 住信SBIネット銀行 法人第一支店
- 請求日: 2020/08/03
- 支払期限: 2020/08/31
- 支払予定日: 2020/08/31
- 請求金額: 16,280
- 課税10% 税抜: 14,800
- 外税: 1,480
- 担当者: 部門 開発

A yellow callout box with the text '読み取った明細情報の確認' (Check the extracted detail information) points to the '明細' (Details) button in the summary panel.

請求明細

品番	品名	単価	数量	小計(税抜or税込)
1	月額基本料金	9,800	1	¥ 9,800
2	データ処理料	100	50	¥ 5,000

こちらの例では「月額基本料金」「データ処理料」の2行の明細が読み取られていますので、これらをもとに仕訳を生成する方法について説明します。

## スタートガイド 仕訳データ編

仕訳辞書の画面を開き「請求明細から生成する」を選択すると、下記のように仕訳辞書の表示が切り替わります。

※請求明細から生成する場合は、仕訳辞書の明細は 1 行になります。

仕訳辞書編集

× キャンセル 保存して反映 保存

仕訳種別 費用計上

適用条件 仕入先 10101:株式会社セントロ 部門 営業 プロジェクト

詳細

仕訳情報 計上日 ☒ デフォルト仕訳設定に従う ☐ 個別に設定する

明細 ☐ パターンを定義する ☒ 請求明細から生成する

☐ 貸方を編集する

勘定科目	補助科目	税区分	勘定科目	補助科目	税区分
部門		金額	部門		金額
摘要			仕入先		
747:地代家賃		課税仕入(自動判定)			
開発		明細金額		デフォルト仕訳設定に従う	
\$(計上月)月分			自動判定		

勘定科目の項目を設定すると、勘定科目の設定をするウィンドウが表示されます。「設定方法」に「条件を設定」を選択すると品番や品名を使つての条件が指定できます。下記では品名に「月額基本料金」が含まれている場合に勘定科目を「通信費」にするという設定をしています。部門や摘要も同様に品番や品名を使って振り分ける事が可能です。

勘定科目

× キャンセル OK

設定方法 条件を設定

条件は上から優先的に適用されます。  
一致する条件が無い場合はデフォルト仕訳設定の内容が適用されます。

条件 品名 に次を含む 月額基本料金

設定値 通信費

条件追加

## スタートガイド 仕訳データ編

下記は摘要に読み取った品名と単価を設定するように定義した例になります。

摘要

✕ キャンセル OK

設定方法

固定値

摘要

\$(品名) \$(単価)

利用できるパラメータ

\${品名}、\${品番}、\${数量}、\${単価}、\${単位}、\${小計}  
 \${部門}、\${部門略称}、\${仕入先}、\${請求ID}、  
 \${計上日}、\${計上月}、\${計上年}、\${計上月+1}※1~6の数字、\${計上月-1}※1~6の数字  
 例：\${品番}\${品名} \${単価}×\${数量}\${単位} 小計 \${小計}  
 ⇒(N001)備品 1000×10個 小計 10000

このよう定義した仕訳辞書を適用すると

1 行目は「月額基本料金」という文字列が含まれているので勘定科目は「通信費」になり、摘要には品名と単価が記載された仕訳が生成されます。

📖

計上日 2020/07/31

編集

勘定科目	補助科目	税区分	勘定科目	補助科目	税区分
部門		金額	部門		金額
摘要			仕入先	プロジェクト	
通信費		課税仕入 10% 10,780	未払金		対象外 16,280
月額基本料金 9800			株式会社Deepwork		
未確定勘定		課税仕入 10% 5,500			
データ処理料 100					
合計金額	借方	16,280		貸方	16,280

## 5. 支払計上仕訳

支払方法が銀行振込のデータについて、振込データ出力時に下記のような支払計上の仕訳が生成可能です。

費用計上時

借方勘定科目	借方補助科目	貸方勘定科目	貸方補助科目
備品		未払金	仕入先〇〇

費用計上時の貸方のうち「勘定科目種別」が「債務」の行が借方に。

勘定科目に「未払/買掛金判定」を指定すると、勘定科目種別は[設定]-[サービス]-[勘定科目・補助科目設定]から設定してください。

支払計上時

借方勘定科目	借方補助科目	貸方勘定科目	貸方補助科目
未払金	仕入先〇〇	普通預金	〇〇銀行

貸方に「資産科目判定」を指定すると支払元口座に設定された勘定科目・補助科目が設定されます。口座の勘定科目は[設定]-[サービス]-[銀行口座設定]から設定してください。

支払計上仕訳では仕訳辞書を使った細かな制御はなく、「デフォルト仕訳設定（支払計上）」の定義に従って生成されます。

[設定]-[サービス]-[デフォルト仕訳設定（支払計上）]を開きます。





## スタートガイド 仕訳データ編

「デフォルト仕訳設定（支払計上）」は初期で下記の状態になっており、貸借の科目はそれぞれ下記のルールで判定されます。

※支払計上仕訳では、仕入先ごとの個別の仕訳辞書設定はできません。

× キャンセル

⚙️ 資産科目設定

💾 保存

### デフォルト仕訳設定（支払計上）

計上日 支払日

勘定科目 部門 摘要	税区分 金額	勘定科目 部門	税区分 金額
未払/買掛金判定	対象外	資産科目設定	対象外
設定しない	自動計算	設定しない	自動計算
<input type="checkbox"/> 固定行として仕訳に追加する（金額の自動計算の対象外となり常に仕訳に追加されます） <div>削除</div>			
		支払手数料	課税仕入(自動判定)
設定しない	設定しない	設定しない	支払手数料（先方負担）
<input type="checkbox"/> 固定行として仕訳に追加する（金額の自動計算の対象外となり常に仕訳に追加されます） <div>削除</div>			
<div>行追加</div>			



最後までご覧いただきありがとうございます。

ご質問やご要望等ありましたら

チャットもしくは [support@invox.jp](mailto:support@invox.jp) までメールにてご連絡ください。